

## 人工衛星QuickBirdがとらえた古都京都(2)

データ収集：宇宙技術開発株式会社

データ処理：東京理科大学・国土情報工学研究会

前掲の画像から西本願寺（世界遺産）の領域を拡大してみました。西本願寺には華麗な桃山建築と御影堂をはじめとする国宝、重要文化財が数多く保存されています。世界最大級の木造建造物である「御影堂」は、平成10年から修復が始まり、平成20年までに完了する予定になっています。QuickBird画像を見ると御影堂の屋根が工事中であること、「阿弥陀堂、黒書院、書院」の位置関係、植生の繁茂状態等がよく判ります。また、南北に走る堀川通り、大宮通り上の車線の違いや車線を区別する白線までも判読できます。450kmも離れたはるか宇宙からこのような精度で地上の様子を把握できる技術（リモートセンシング）を人類は手に入れたこととなります。

